

理科年間指導計画(シラバス)

広島市立草津小学校

第6学年

学習目標

- (1) 生物の体のつくりと働き及び生物と環境とを関連付けながら調べ、見いだした問題を多面的に追究する活動を通して、生命を尊重する態度を育てるとともに、生物の体の働き及び生物と環境とのかかわりについての見方や考え方を養う。
- (2) 水溶液、物の燃焼、電磁石の変化や働きをその要因と関連付けながら調べ、見いだした問題を多面的に追究したりものづくりをしたりする活動を通して、物の性質や働きについての見方や考え方を養う。
- (3) 土地のつくりと変化の様子を自然災害などと関連付けながら調べ、見いだした問題を多面的に追究する活動を通して、土地のつくりと変化のきまりについての見方や考え方を養う。

授業の工夫

理科では観察・実験・飼育・栽培・ものづくりという実体験を大切に、児童が興味をもって、楽しんで学ぶことのできる授業を心がけていきたいと思ひます。また、いろいろな面から追求し、相互関係や規則性をとらえ、児童に問題解決の能力が育まれるようにしていきたいと思ひます。さらに、チームティーチング(TT)を取り入れることにより、児童一人一人にきめ細かな指導を行い、「楽しい授業、わかる授業」を目指していきます。

年間授業計画

月	単 元 名	評 価 の 観 点
4	わたしたちの地球	【自然事象への関心・意欲・態度】 自然事象を意欲的に追求し、生命を尊重するとともに見いだしたきまりを生活に当てはめてみようとする。 【科学的な思考】 自然事象の変化とその要因との関係に問題を見だし多面的に追求し、相互関係や規則性をとらえ、問題を解決する。 【観察・実験の技能・表現】 問題解決に適した方法を工夫し、装置を組み立てたり使ったりして観察、実験やものづくりを行い、その過程や結果を的確に表現する。 【自然事象についての知識・理解】 生物は互いに類似した体のつくりと働きをもち環境とかかわって生きていることや、物に外から条件を加えると物の性質や働きが変わること、土地のつくりと変化にはきまりがあることなどを理解している。
5	1 ものが燃えるとき	
6	2 ヒトや動物の体	
7	3 生物とかんきょう	
9	自由研究をしよう	
	4 水よう液の性質	
10	5 大地をさぐる	
11	6 大地の変化	
12	7 電磁石のはたらき	
1	8 自然とともに生きる	評 価 の 方 法 単元ごとのテスト・小テストなどを中心に、宿題や学習態度、発表・ノートまとめ方など普段の学習の様子を加味して評価をします。
2		
3		
年間授業時数 95時間		